



春寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。



2022年

2月

## 「風呂敷の日」 2月23日



風呂敷を「包み」と読み替えて、「2(つ)23(つみ)」と読む語呂合わせから。1200年以上の歴史を誇る風呂敷は、包装用具として繰り返し使え、環境保全に役立つエコマーク商品である。近年、再びマイバッグが注目されはじめており、風呂敷は布ひとつであらゆる使い方ができ、最近ではおしゃれなものも多いのでこの機会に一つ持ってみては？

## 2月の記念樹



### 2月1日 シダレウメ 「高潔」

シダレウメは一部の品種を除き、ほとんどが観賞目的に育てられています。「サクラ切る馬鹿、ウメ切らぬ馬鹿」という言葉が昔からあります。しかし、ウメの剪定も言葉ほどに安易ではなく、特にシダレウメは難しいものです。樹冠の中にまで光が入るように、外見上ではカスケード状(段々に数珠つなぎになるように)に剪定するのがポイントです。

### 2月3日 ヒイラギ

#### 「先見の明」



代表的な縁起木の一つ。古来、縁起をかついで庭によく植えられてきたヒイラギは、ゆっくりと高さ3~6mに生長します。



### 2月16日 ポプラ

#### 「勇気」

長くまっすぐな枝が、天を指すように伸びた姿が魅力。葉を落とした冬木立は、ほうきを逆立ちさせたと形容される独特の樹形となり、冬の景観のアクセントに。

### 2月26日 ボケ(木瓜)

#### 「先駆者」

地面に近い枝まで、たくさんの花を咲かせます。ボケという名前は木瓜(もっか)という音読みがモケ→ボケと変わっていったものですが、名前とは全く違う素晴らしい花木です。



## 2月の草花管理

冬の寒さから守るために、室内に取り込んだ植物達は元気でしょうか。ちょっと元気が無いな、葉色が悪いなということはありませんか？  
主な原因としては、空気の乾燥、昼夜の温度差、日照不足による徒長、過度の水やりによる根腐れなどが考えられます。乾燥には霧吹きで葉水を与える、昼夜の温度差には段ボール箱や発泡スチロールの箱でカバーする、日中天氣の良い日はできるだけ日に当てる、休暇中の植物は水やりを控えめにするなど、それぞれ対策を講じましょう。

## みどりの豆知識



# 日本庭園用語くいき



## みどりのクイズ



どれがどの名前かリストから選んでみよう

※答えは下段にあります

①



②



③



④



枯山水  
沓脱石  
蹲踞  
飛石  
灯籠  
鹿威し

## 今の時期にやっておきたい冬期防除



## みどりの豆知識

「冬に殺虫剤?」と思われるかもしれませんが、病害虫が越冬しており、樹木の休眠時期であるこの時期だからこそ散布できる薬剤があります。

それが、【石灰硫黄合剤】又は【マシン油乳剤】です。

例えば、吸汁害虫のカイガラムシ。体が硬い殻で覆われている為、一般的な殺虫剤では駆除できず、更にすす病も誘発する厄介な害虫です。しかし、これらの薬剤は越冬中のカイガラムシを駆除することが可能なのです!

強い薬剤は、暖かくなると薬害が出やすくなるので、寒冷地であっても遅くとも3月には散布を済ませておきましょう。ただし、石灰硫黄合剤とマシン油乳剤の同時使用はできません。

石灰硫黄合剤の後にマシン油乳剤を使用する際は一ヶ月ほど間をあける必要があります。

カイガラムシ対策にマシン油乳剤を先に使用した場合、油膜で他の薬剤が浸透しにくくなります。

この場合も一ヶ月ほど間をあけると、次の薬剤を使うことができるようになります。

春からの病害虫を防ぐ、ダコニールなどの殺菌剤も散布しておきましょう。



うどん粉病



ハダニ



ルビーロウ カイガラムシ



すす病



対象となる庭木が少ない場合は、散布ではなく塗布でも良い

